

令和4年度 第2回 学校運営協議会議事録

校名	大阪府立大阪わかば高等学校
校長名	大西 俊猛

開催日時	令和4年12月16日(金) 15:30~17:00
開催場所	府立大阪わかば高等学校 会議室
出席者(委員)	山本 義彦会長、榎本 欣弥副会長、榎井 縁委員、北口 英晃委員、末 廣行委員、筋原 章博委員
出席者(学校)	大西 俊猛(校長)、石川 良隆(事務長)、松本 展幸(首席)、石井 悠太(首席・生徒部長)、杉原 陽子(教務部長)、高野 雄平(進路部長)、平川 誠(クラス主担)、勝矢 裕貴(教諭)、浦野 泰地(教諭)
傍聴者	
協議資料	大阪わかば高等学校スクール・ミッション(案) 令和4年度学校経営計画に基づく本年度の取組みの進捗状況 令和4年度学校教育自己診断
備考	

議題等(次第順)
(1)校長挨拶 (2)委員・事務局員等紹介 (3)資料確認 (4)協議：大阪わかば高等学校スクール・ミッション(案)について 令和4年度学校経営計画に基づく本年度の取組みの進捗状況について 令和4年度学校教育自己診断について (5)校長謝辞
協議内容・承認事項等(意見の概要)
○校長挨拶 ○令和4年度学校経営計画について(学校長より) ○大阪わかば高等学校スクール・ミッションについて(学校長より) ○令和4年度学校経営計画について(各部長より進捗状況説明) ○委員からの意見・質問 ・外国にルーツを持つ生徒に関して、国によって教育のシステムが異なると考えられるが、どのような擦り合わせを行っているのか。 →「子どもの権利条約」に基づいて行っている。また、大阪府では日本語だけでなく、自分の母語も大切に、それぞれの文化を尊重することを大切にしている。

- ・授業中にスマートフォンを使用する生徒は外国にルーツを持つ生徒と日本の生徒ではどちらが多いのか。
→Chromebook を持ってきていない生徒にはスマートフォンの使用を許可している場合があるので、各授業で使用率が異なる。
- ・服装や頭髮の規程はあるのか。
→特にない。ただし、学校生活にふさわしく、他の生徒に危険が及ぶと考えられるものは指導を行う。
- ・実際に指導する場面はあるのか。
→現状、教員が注意することはほとんどない。
- ・外国にルーツを持つ生徒が生野区長に住みやすい区について提言をしてくれたり、絵本の読み聞かせのイベントに参加してもらったり感謝している。これからも区役所・地域と連携を行い、大阪わかば高校を支援していきたい。
- ・わかば高校の授業を見学した文部科学省の調査官からメールをいただいた。「今年の春に入学した生徒がディベートしたことに驚いた。また、日本語だけではなく、母語を使った授業を行っていることにとても感心した」と非常に高評価をいただいた。
- ・外国にルーツを持つ生徒の授業は、生徒が嫌々ではなく生き生きできるものだと感じる。日本語担当の先生だけではなく、他の教科の先生も様々な工夫を凝らしていると思う。
- ・スクール・ミッションをつくる際に、目標の曖昧な部分を整理して、全教職員で目標達成に向けて取り組めるようにしてほしい。
- ・外国にルーツを持つ生徒は学校生活で大変な部分が多いと思うが、学ぶ気持ちが強ければ学ぶことができることに感心している。
- ・日本語の力を伸ばすことができるシステムを確立されていることに感心を持った。他の学校も興味を持つのではないかと感じる。また、子どもたちには世界を牽引する人材になってほしい。
- ・中学校においても、言語に関する課題は年々多くなっていると感じる。外国にルーツを持つ生徒が年々増える中で、子どもたちには社会に出る前に高校での勉強を頑張ってもらいたい。また、「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜」の枠をしっかりと確保してほしい。

次回の会議日程

日時	令和4年3月2日（木）15時30分～予定
会場	大阪府立大阪わかば高等学校 会議室